

- 名前 島谷 貴子(しまたに たかこ)
- 生年月日 1982年11月3日(32歳)
- 血液型 A型 血液型通り、片づけが得意です。(会社の掃除番長です)
- 家族構成 甘いマスクの夫、やんちゃでいたずら好きなお三人娘です。休みの日は、必ずと言っていいほどお出掛けしています。家にジツとしてられない家族です。私としてはたまには、家でまったりゴロゴロしたいです。
- 長所 体育会系 どんなことにも前向きに、元気でやります。(あざっすっ)
- 短所 涙もろい 感動する映画やテレビを見るとすぐに泣いてしまいます。この間、娘と「ドラえもん」の映画を見て号泣してしまい、立ち上がるのに時間がかかってしまいました。
- 趣味 体を動かすこと 今は、ママさんバレーで汗を流しています。
- 古美術で一番好きなもの 漆器、蒔絵物(まきえもの)です。見ていて本当に癒されます。高蒔絵(たかまきえ)の絵が盛り上がった感じが、立体的で綺麗に見えてとても好きです。いいなと思った物は、高価な物が多く、おねだりはできませんが、お金を貯めて気に入った物を手に入れたいと思っています。



獅子牡丹図鞍

お客様のコメント



いつもニュースレターをありがとうございます。ますます内容が充実してきましたね。貴社には2度ほどお世話になりましたが、人気のあるものは中々落とせないです。中堀さんの鎧の話は大変勉強になりました。商品にまつわる話が面白いです。社長さんの龍馬のもし…!も面白かったです。色々想像を掻き立てられました。私は歴史は勝者は歪められていると思っているので、疑った目でみるようにしています。
「龍馬を殺したのは、いろは丸の賠償金を横取る為に土佐藩内部の者の仕業だと考えています。それが三菱の資金になったのではないのでしょうか。彼がもし殺されていなかったら確かに世界を股にかける大実業家になり、次に彼のあくことのない自由精神でもって日本のリンカーンになっていたと確信します。しかし、やはりその時も暗殺されたでしょう。」
 ※左の写真は以前貴社から購入した兜の素材で自作しました。「七人の侍」の三船敏郎の兜をイメージしました。昨年はこれを被ってNHKの歴史番組に3度出ました。良い物をありがとうございました。貴社のますますのご発展をお祈りいたします。(ペンネーム:ロバーとケン様)

ニュースレターへの丁寧な御感想を聞かせて頂きありがとうございます。そうですよ!?歴史は勝者の都合の良いように書き換えられていると私も思います。暗殺の黒幕説は色々あり、ミステリアスなところが、また龍馬の人気に繋がっている感じがしますよね。ロバーとケン様の土佐藩→土佐商会→三菱商事は大変納得させられました!その説は初めてお聞きしたので、FAXを読んで思わず「ほお〜、なるほど」と独り言を呟いてしまいました(笑)確かに岩崎弥太郎は三菱を大きくする上で、インサイダー取引も盛んにしていたと言われていますね。海援隊に龍馬の死後海援隊を経営的に運転しうるだけの後継者が育っていなかったのが残念ですね。まっ龍馬は32歳ですからね。龍馬が日本のリンカーンですか!?龍馬好きの私には最高の表現ですね。確かに暗殺されそうですね...歴代総理の中に坂本龍馬の名前が入っていて欲しかったです... (花本)

社長始め皆様方が楽しくお仕事をなさっている様子が目に浮かびます。頑張ってください。私も12月に70歳になりますが、刀欲しさにもう少し頑張ろうと思っています。(新潟県 K様)
 お誕生日おめでとうございます。心温まるコメントを下さりありがとうございます。K様のようなお言葉を頂けるので頑張れます!(中堀)今後もK様のご期待に添える刀を沢山、出品できるよう頑張っ仕入れます!!これからも末永く宜しくお願い致します。(花本)

物事を深く感じる姿勢に共感致しました。これからも古き時代にタイムスリップして、その時代の空気、人物を現代に伝えて下さい。(神奈川県 K様)
 ありがとうございます。企業としての目的、届けますっ!大和魂の目的を感じて下さり感謝しております。これからもお客様と一緒に古き時代にタイムスリップして行けるタイムマシン企業を目指します。今後とも宜しくお願い申し上げます。(花本、社員一同)

ホームページ <http://daimyou.com/> ホームページ リニューアルしました
 有限会社 大名 広島県尾道市栗原町2-1 3F
 TEL.0848-29-6013 FAX.0848-29-3937

届けますっ! 大和魂 2014年12月 Vol.3

—経営理念—

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシン企業を目指します

本年中は大変お世話になりました。年末は何かとご多忙とは存じますが、ご自愛くださり佳き新年をお迎え下さい。2015年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

—目次—

- 骨董火鉢でおいしく頂きました!
- 中堀なかぼり
- 島谷(しまたに)
- ハナエモンのタリムスリップ
- 花本(はなもと)
- 島谷プロフィール
- 島谷(しまたに)
- お客様のコメント
- 中堀なかぼり

骨董火鉢でおいしく頂きました!



こんにちは。中堀明美(なかぼりあけみ)です。皆様、寒い冬を如何お過ごしでしょうか?寒くなるに連れて美味しい物も増え、この時期はいつも体重計と日々ならめっこをしておりますが...



↑炭を火鉢へ入れる旦那さん。真剣な眼差しです!

どうしても炭火の上で焼いた秋刀魚を食べたくて、社長におねだりしていた火鉢がついにこの間入手できたので、早速焼いちゃいました!!旦那さんに炭をおこしてもらい、秋刀魚を網の上へ...秋刀魚の脂で炭が燃える燃える!!少し焦げてますが、ちゃんと中まで火が通っていてあっと言う間に焼けました。こんなに焼けて大丈夫かな?と不安と期待で秋刀魚をパクッ!めちやくちやおいしーっ!その後、焼き鳥、野菜、肉、はまぐりを焼いて全部おいしく頂き、大満足でした。息子は普段野菜を好んで食べませんが、雰囲気もあったせいか焼野菜を沢山食べました。



↑火鉢の前で笑顔の長男!

昔火鉢は:

江戸時代や明治・大正時代では暖房目的やお湯を沸かしたりする道具だったそうです。一酸化炭素中毒や火災の危険があるため、戦後はストーブの普及につれあまり使用されなくなったそうです。火鉢を室内で使用するのはとても危険です。これからの季節、まだまだ寒さが厳しくなりますが、外でお餅を焼いたり、網の上に鍋を置き日本酒を温めて熱燗にして呑めるなど楽しみが増えますよね。今年の冬、我が家では火鉢が大活躍しそうです!! *火鉢が気になる方は当社までご連絡ください!



大和魂

語ります

この度語らせていただきます、島谷貴子(しまたにたかこ)です。
私は漆器物が好きなので、先日当社に入荷したばかりの煙草盆について語らせていただきます。煙草盆(たばこぼん)とは喫煙具一式を納めておく道具のことです。
時代のある物で、一式揃っている物は少ないです。

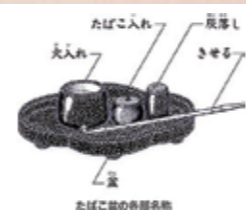
煙草盆、煙管も時代と共に様々な形に変わっていきました。
飾り金具が付いた物、漆蒔絵(うるしまきえ)、桐や桑等の木地の物、喫煙に便利のように手付が付いた物、煙草以外の物も収納できるように作られた箆筒型の物に変わっていきました。



◆手提付煙草盆
(大名好み、
江戸時代初期
～後期の作品)



◆箆筒型煙草盆
(江戸時代後期)



たばこ入れ 灰入れ 長巻し させる

～どこで使用されたのか～

煙草盆は、茶事(ちゃじ)で使用されます。茶事とは正式な茶会のことです。
流れは、寄付(よりつけ:集合場所)→濃茶(こいちゃ:メイン)→懐中席(かいちゅうせき:お食事)→薄茶(うすちゃ:デザート)。煙草盆が使用される時も決まっています、寄付、薄茶の時のみです。大寄茶会(おれよせちゃかい)(多くの客を招いて行う茶会)の場合、始めからお客の前に置かれてあります。今も昔も変わらず、喫煙のマナーが大事ということですね。

～新し物好きの秀吉だが…～

煙草が日本に入ってきたのは、1543年(戦国時代)に南蛮船(なんばんせん)でスペイン人とポルトガル人によって運ばれてきたとされています。

新しい物好きの豊臣秀吉(とよとみひでよし)も葉タバコを愛用し側室(求愛を受けた妾(めかけ))の淀(よど)殿も女性で初めての喫煙者となりました。しかし、日本でタバコを初めて手にしたとされるのは、徳川家康(とくがわいえやす)とされています。スペインとの貿易に積極的だった徳川家康への贈り物として、スペインのフランシスコ会の修道士、ヘロニモ・デ・ヘススの使節団が贈ったと記録されています(ブルギーニョス報告書、所蔵:スペイン王立図書館)日本で初めて手にしているにも関わらず喫煙をしたという記録が残っていないのです…なぜなら健康を害するという事を知った、健康オタクの家康は口にしなかったそうです。ちなみに秀吉は、家康が煙草を吸っていないことを知り、喫煙をやめたそうです。家康より長生きをするために、止めたのでしょうか！



◆徳川家康



◆淀殿



◆豊臣秀吉

～葉煙草から煙管～

1603年から葉煙草ではなく、煙管が流行し始めました。庶民たちの喫煙が広まると共に、農家の主要作物の米ではなく、煙草を栽培する農家が増えた為、幕府は農家が煙草を栽培することを防ぐ禁令を出しましたが、煙草を楽しむ人々は増え続け、煙草の耕作も広まっていきました。禁令はだんだん衰退し、元禄期頃(1688～1704)を境に新しい禁令が出されなくなり、江戸時代の庶民を中心に、嗜好品として広く親しまれました。

～いつから茶事で使用されたのか～

戦国・桃山時代には葉煙草が主流で、江戸時代あたりから煙管が主流になり、茶事でも使用されるようになりました。江戸時代後期には茶道具の1つとして認知されました。
当社で扱っている煙草盆は、手提付箆筒形(てさげつきたんすがた)煙草盆といい江戸時代後期に作られたタイプの物です。時代と共に変化を遂げていった煙草盆、貴方の一室にそっと置いてみてはいかがでしょうか？煙草盆からも時代の流れを感じられると幸いです。



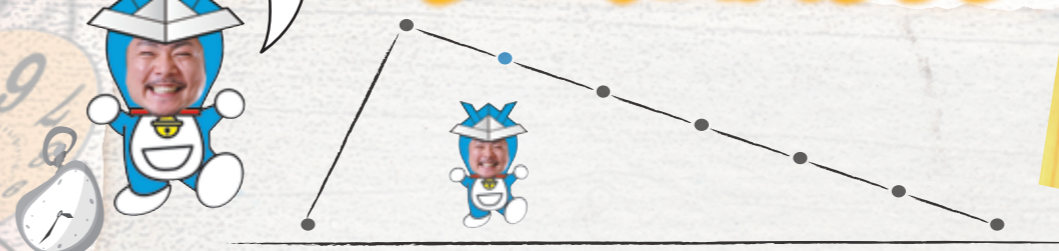
◆煙草盆

※当社の煙草盆は手提付箆筒型煙草盆です

ハナエモンの

タ～イムスリップ

織田信長編



- 一、うつけ者と呼ばれた
or呼ばされた家督争い
十七歳
- 二、桶狭間(おけはま)の戦い
二十六歳
- 三、美濃攻略
三十三歳
- 四、上洛(じやうらく)と室町幕府
十五代将軍足利義昭
擁立
三十四歳
- 五、室町幕府の滅亡
三十九歳
- 六、長條(ながの)の戦い
四十一歳
- 七、京都御馬揃え
四十七歳
- 八、本能寺の変
四十八歳

六、長條の戦い 41歳 西暦1575年

戦国時代、最強と謳われた騎馬隊を有する武田勝頼(たけだかつより)軍1万5000人に対して織田信長・徳川家康連合軍3万8000人の戦い。
敗北したのは武田軍で、有力な武将が多数戦死するなど、甚大な被害を受けました。
※武田軍の戦死者数には諸説あり、千人とも1万人ともいわれています。
ただし千人の将であれば、戦死者数はより増えるのでは？ともいわれています。

この戦いは戦力差もあり連合軍に有利な戦いでしたが、当時の最新兵器である**火縄銃(ひなわじゅう)**を大量に使用した世界で初めての戦いなんです！
ヨーロッパから伝来した火縄銃、当時のヨーロッパでは数百丁くらいが戦場で使用されていたようですが、この長條の戦いでは約千丁～三千丁が使用されたそうです。
伝来した火縄銃を日本の刀鍛冶(かたなかじ)が独自に改良したり、大量生産したりとものづくりが得意な日本人らしさが詰まった戦いでもありますね。

※信長は他にもヨーロッパの船から学び、鉄甲船(てっこうせん)も製作しています。
鉄甲船は木で作られた船を鉄板で覆い、火縄銃などが効かないようにしたり、大砲をいくつか搭載していたそうです。
ポルトガル人の宣教師であるオルガンチノが母国に宛てた報告書にも「ポルトガル王国の船に似ており、このような船が日本で造られていることは驚きだ」と記載されているそうです。
その他にも宣教師であるルイス・フロイスから金平糖(こんぺいとう)を献上された信長は和菓子職人に同じものを作らせようとしたが菓子職人が金平糖のポコボコした形を再現出来ずひどく叱責したというエピソードが残っています。



◆火縄銃



◆長篠合戦図屏風

もし本能寺(ほんのうじ)で討たれてなかったら



歴史に「もし」はないですが、もし信長が本能寺で討たれてなかったら

信長の死後、天下統一を果たした豊臣秀吉が中国を攻略する為に朝鮮に出兵したのは約15万人でした。仮に朝鮮を攻略しても中国は日本が卑弥呼(ひみこ)が女王だった時代(西暦173年に中国に使者を送っています。)の中国では既に100万人規模の戦いをしていますので中国は攻略出来なかったと思います…。
信長は朝鮮、中国からの侵略ではなく、東南アジアを経由してヨーロッパへの侵略を計画していたという説があります。当時のヨーロッパでの大戦では約2万人～6万人だったそうなので、数字上では可能だったかも…。
でもヨーロッパ諸国から脅威と感ぜられて、逆に侵略され植民地化されていたかも…。
侵略を計画しなくて、ヨーロッパの最新の技術から沢山学び、改良を重ねていたら、日本の文明の発達にとっても貢献していたのではとも思います。
信長の死後、271年後の江戸時代末期に日本に来航した艦船にビックリッ!!!なんてこともなかったかも…。